

株主メモ（証券コード：2911）

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告
当社ウェブサイト <https://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株主様へのご優待 保有株式数及び保有期間に応じて下記の基準で自社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

3月31日現在

ご所有株式数	株主優待内容
100株以上	1,500円相当
200株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は6月中旬～を予定しております。

9月30日現在

3年以上継続保有*

ご所有株式数	株主優待内容
2,000株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は12月中旬～を予定しております。

*株主名簿の基準日（3月末日及び9月末日）の株主名簿に2,000株以上の保有記録が同一株主番号で7回以上連続している場合。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇔ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座をお持ちの株主様 ⇔ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第74期報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



Asahimatsu Foods Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第74期報告書（2023年4月1日から2024年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 **木下 博隆**



当連結会計年度における当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下、「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流の増加やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調がみられた一方、ウクライナ情勢や中東地域を巡る緊迫した世界情勢に加え、為替相場の変動や世界的な金融引締めなどの影響によるエネルギー・原材料価格の高騰が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、世界的な小麦・油脂などの原材料価格や原油価格は落ち着きを取り戻してきているものの高値圏を推移しており包装資材や物流費など各種コストの上昇に加え円安の影響も大きく、前連結会計年度に引き続き価格改定を実施する企業が相次ぎました。今後も更なる物価上昇が懸念され、実質的な質上げが追い付かず節約意識は一層高まっております。また、その中でも食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも増大しております。

このような状況のなか、当社グループでも主要原料である輸入大豆の価格が高止まりしている上、円安の急速な進行もあり経営環境が悪化しております。さらに、原材料価格や物流費の高騰など製造コストの上昇も加わって、収益面への影響は深刻な状況が続いております。このため、2023年6月には凍豆腐で、10月には医療用食材の価格改定を実施しており、企業努力では吸収しきれないコスト増への対応を余儀なくされました。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョンアップなど、一層の向上を図っております。

また、合理化、省エネルギー、脱炭素、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。具体的には、主力工場である天竜工場での太陽光発電設備への投資に加え2024年1月には高森工場でも太陽光発電設備を稼働いたしました。併せて、フードロスの削減に向けた取り組みとして、賞味期限延長可能な商品開発などに取り組んでまいりました。

当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、営業活動の正常化や、過年度より数回にわたり実施した価格改定の効果も表れており、売上高は80億9千8百万円（前年同期比2.0%増）となりました。利益面では、原材料やエネルギー価格など、製造コスト上昇の影響はあるものの、引き続き合理化や諸経費の削減などを図ってまいりました結果、営業利益は2億5百万円（前年同期は4千9百万円の損失）、経常利益は2億8千7百万円（前年同期比913.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億3千2百万円（前年同期は6千8百万円の損失）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐】

凍豆腐では、市場の拡大・活性化を図るべく業界団体と協調し、凍豆腐に多く含まれるレジスタントプロテインが、肥満や脂肪肝を予防する健康機能性を訴求するPR活動などを行ってまいりました。また、即食タイプの「TOPURO（トプロ）」や「カップ新あさひ豆腐」、原料大豆にこだわり美味しさ長持ちの「新あさひ豆腐うす切り」シリーズの拡販に努めてまいりました。さらには縮小均衡が続く国内市場への活性化を含め、海外への市場拡大を目指しオランダ・フードバレーに参画し健康機能性の研究を続けております。また、凍豆腐の最需要期となる12月に、関西・長野にてテレビCMを集中投下し、需要喚起を促しました。なお、企業努力では吸収しきれない各種コストの大幅な上昇を受け、収益面でも厳しい状況となっていることから、前年度に続き2023年6月より価格改定を実施しておりその効果もあって、売上高は36億5千6百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

【加工食品（即席みそ汁等）】

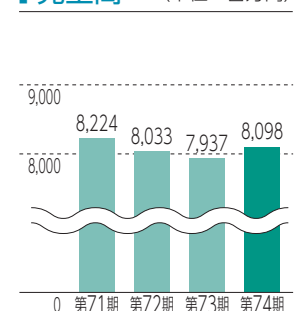
加工食品では、単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るため商品の改廃を進めてまいりました。特に、カップ入りタイプのオートミールは健康志向の方に評価が高く新たに具材入り商品のアイテムアップなど品揃えを強化してまいりました。また、Z世代女性をターゲットに当社製造の微粉碎おからパウダーを使用した食物繊維たっぷりのおからスープ「韓・GREE（ハン・グリー）」2アイテムを発売し販売強化を図りました。その結果、売上高は23億7千4百万円（同2.4%増）と増加いたしました。

【その他食料品】

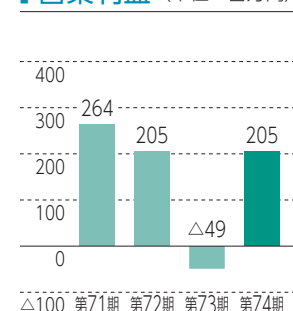
その他食料品の売上高は20億6千7百万円（同0.8%増）と増加いたしました。その中で、えん下困難者用食品を扱う医療用食材や、世界的にも注目を集める代替肉商品の大豆素材「大豆ミート サステナブルチキン」などの拡販に努めました。なお、医療用食材では2024年1月に消費者庁より特別用途食品として当社で2品目となる「冷凍味付けやわらか納豆 極さざみひきわり」2アイテムの表示許可を取得し今後の拡販に努めてまいります。

業績の推移（連結）

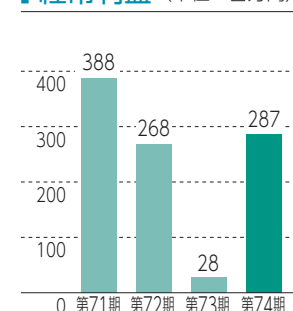
売上高（単位：百万円）



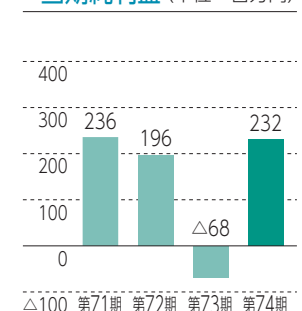
営業利益（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



トピックス

フランス・パリに日本銘産品アンテナショップ「GOÉN」 （ごえん）オープン 当社、高野豆腐商品がパリの店頭にも！

当社では、高野豆腐が持つ健康機能性を世界中の方々の願いである健康長寿に役立てていただくために、オランダ・ワグeningen大学との共同研究などグローバルな活動を進めています。
このたび、一般社団法人長野欧州貿易支援機構が主催し、フランス・パリにグランドオープンいたしましたアンテナショップ「GOÉN」（ごえん）に当社の高野豆腐商品を出品いたしました。
初めて、当社の高野豆腐商品を海外で直接販売いたします。



陳列風景



パリにオープンしたGOÉN



店内の様子

「TOPURO」「新あさひ豆腐 うす切り」「新あさひ粉豆腐」の3つを出品。
高野豆腐が健康食であることや、これらの商品を使った料理レシピを紹介しています。



高野豆腐が宇宙飛行士と高齢者の筋肉を守る！

当社と徳島大学（二川 健 教授）との共同研究の内容について、当社が所属する全国凍豆腐工業協同組合連合会主催の記者会見において発表いたしました。

当連合会では、これまで、高野豆腐の健康機能性（コレステロール低下や糖尿病予防・改善効果などの代謝改善）や、その要因と考えているレジスタントプロテインがこうや豆腐中に多く含まれている理由について発表しております。さらに、本研究により、筋肉を維持する効果について確認されました。

共同研究内容

動物実験により、一般的な食餌の代表であるカゼイン食群では坐骨神経切除（筋肉を使わない（廃用性筋萎縮）モデル、Den）処理によって、未処理（Sham）群よりもAtrogin-1遺伝子の発現が増加し、筋肉の分解が起こってしまう事が認められます。一方で、こうや豆腐食群ではDen処理によるAtrogin-1遺伝子発現量の増加が有意に低く抑えられる事が分かりました。このことから、こうや豆腐タンパク質には抗筋萎縮効果があることが示唆されました。さらに、鉄やカルシウムなどのミネラルも豊富です。したがって、宇宙での長期滞在中の微重力や寝たきりによる筋萎縮や骨粗鬆症を防ぐことができる、有益な機能性食品となる可能性があると考えられます。



▶ 連結財務諸表等

- 連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当連結会計年度 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	4,534,433	4,826,211
固定資産	4,902,195	5,113,461
有形固定資産	4,103,512	4,086,507
無形固定資産	164,400	162,293
投資その他の資産	634,281	864,660
資産合計	9,436,629	9,939,673
負債の部		
流動負債	1,406,514	1,374,857
固定負債	512,027	592,057
負債合計	1,918,541	1,966,914
純資産の部		
株主資本	7,270,648	7,504,586
その他の包括利益累計額	187,733	402,731
非支配株主持分	59,705	65,440
純資産合計	7,518,087	7,972,758
負債・純資産合計	9,436,629	9,939,673

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

・ 連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
売上高	7,937,689	8,098,286
売上原価	5,874,751	5,843,723
売上総利益	2,062,938	2,254,563
販売費及び一般管理費	2,112,747	2,049,223
営業利益	△49,808	205,339
営業外収益	90,355	91,975
営業外費用	12,152	9,549
経常利益	28,394	287,765
特別利益	36,375	4,017
特別損失	93,478	3,180
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△28,708	288,602
法人税、住民税及び事業税	14,378	65,529
法人税等調整額	24,546	△12,829
当期純利益又は当期純損失 (△)	△67,633	235,903
非支配株主に帰属する当期純利益	1,092	3,083
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△68,725	232,820

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

・ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,478	729,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,579	△538,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,538	△58,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,171	15,818
現金及び現金同等物の増減額	△13,467	148,885
現金及び現金同等物の期首残高	845,354	831,887
現金及び現金同等物の期末残高	831,887	980,772

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 会社の概要 (2024年3月31日現在)

商 号	旭松食品株式会社 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本 店	長野県飯田市駄科1008番地
本 社	大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設 立	1950年12月19日
資 本 金	1,617,844,105円
子 会 社	旭松フレッシュシステム株式会社、 青島旭松康大食品有限公司、 青島旭松康大進出口有限公司
従 業 員 数	グループ人員：313名 当 社 人 員：229名
主な事業内容	大豆加工製品の製造及び販売
主 要 製 品	家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、 即席みそ汁、スープ類、オートミール、 医療用食材等

▶ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

①発行可能株式総数	5,680,000株
②発行済株式の総数	1,876,588株
③株主数	4,033名
④大株主（上位10名）	

株 主 名	持 株 数	持株比率
株 式 会 社 八 十 二 銀 行	89,620株	4.86%
木 下 博 隆	55,990株	3.03%
赤 羽 源 一 郎	55,834株	3.02%
佐 々 木 寛 雄	55,205株	2.99%
国 分 西 日 本 株 式 会 社	54,885株	2.97%
藤 徳 物 産 株 式 会 社	54,885株	2.97%
株 式 会 社 大 乾	44,885株	2.43%
株 式 会 社 日 阪 製 作 所	42,600株	2.31%
株 式 会 社 ホ ワ イ ト フ ー ズ	36,000株	1.95%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	30,000株	1.62%

※当社は自己株式33,509株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 取締役及び監査役 (2024年6月26日現在)

代 表 取 締 役 社 長	木 下 博 隆
常 務 取 締 役 経 営 企 画 部 長	蒲 田 充 浩
常 務 取 締 役 研 究 開 発 本 部 長 兼 研 究 所 長	村 澤 久 司
取 締 役 経 営 管 理 部 長	足 立 恵
取 締 役 生 産 本 部 長	平 澤 公 夫
取 締 役 営 業 本 部 長 兼 西 日 本 支 店 長	牧 野 太 郎
取 締 役 (社外)	浜 村 九二雄
取 締 役 (社外)	小 濱 賢 二
常 勤 監 査 役	寺 岡 義 裕
監 査 役 (社外)	伊 坪 眞
監 査 役 (社外)	近 藤 貴 俊

▶ 地域別株主数分布状況

